

## 蛭ヶ岳ー丹沢山ー塔ノ岳

山行日: 2015.4.25 TH 単独 天候: 晴れ後雨

コース: 橋本/6:20ー三ヶ木/6:55ー東野/7:35ー取付き/8:35ー黍殻避難小屋/9:40ー姫次/10:25  
ー蛭ヶ岳/11:55~12:20ー不動ノ峰東屋/13:05ー丹沢山/14:00ー塔ノ岳/14:57ー大倉/17:00



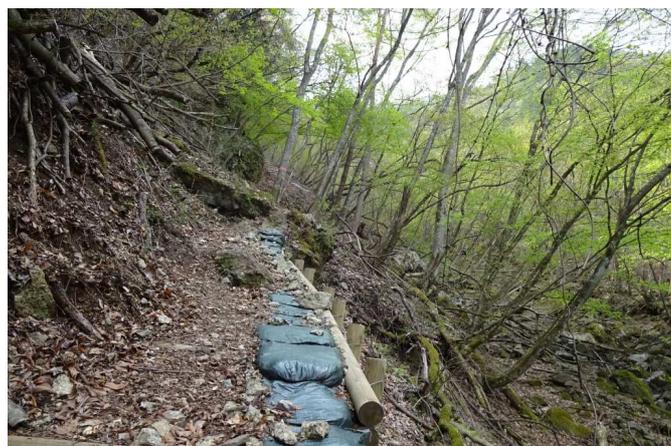
甲斐地方に見られる戦国時代を思わせる旗のぼり



立派な青根中学校



この時見えていた御正体



喘ぎ喘ぎ登って行く

主尾根に合流し、少し尾根を戻ったところの窪地に新築なった黍殻避難小屋に立ち寄る





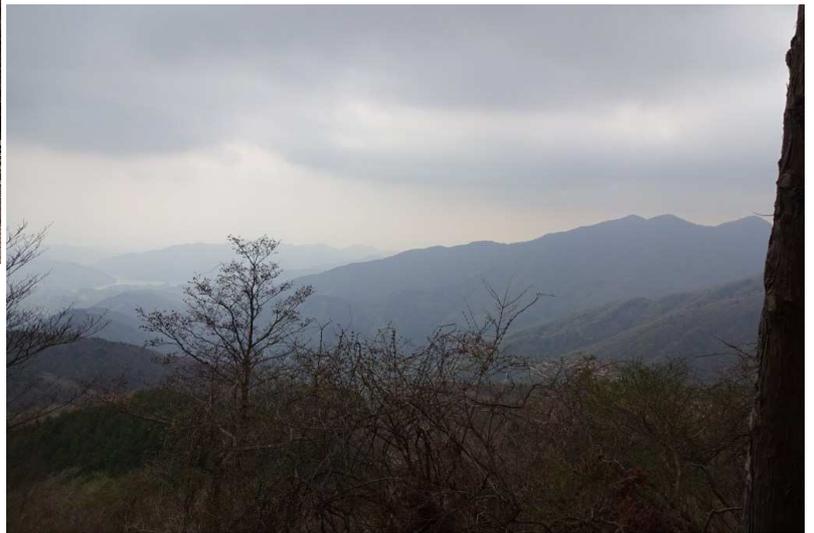
真新しい避難小屋



天水を利用しているエコなトイレ



左、宮ヶ瀬湖と丹沢三峰  
怪しい雲行きになって嫌な予感がしてきた



コース中、一番の原小屋平～地蔵平間の緩やかなエリアはブナ群生帯

唯一のポイント地  
期待した展望も  
なく通過





蛭ヶ岳山頂直下から  
左、檜洞丸から大室山、袖平山

姫次から緩やかな尾根がつづくブナ群生地

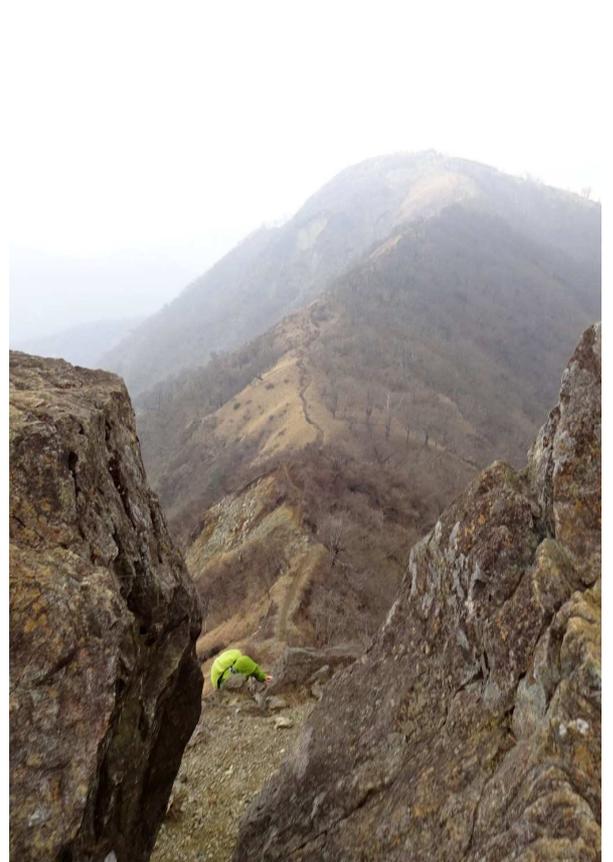
雨がポツンと降りてきたので、ランチを切り上げ出発



途中で雨具を付けることになった、鬼ヶ岩



振返るとまさに蛭ヶ岳山頂が雷雲に覆われ危機一髪



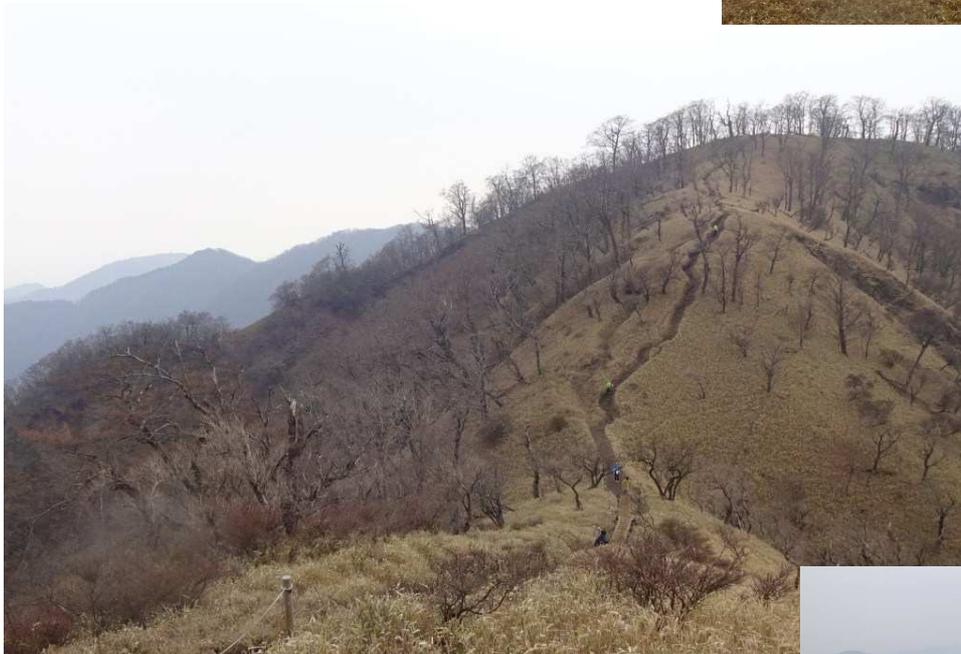


急いで最寄りの不動ノ峰東屋へ避難し  
雷雲の通過をじっと待つハイカー  
12名程の子供と母親連れのグループも  
飛び込んできた(蛭ヶ岳山荘泊まりか)



小雨でベンチには人影数人、ツアー団体がガイド  
2名に引率され天王寺尾根からやってきた

雷雲も通過したので小雨の中出発



竜ヶ馬場から三角沢ノ頭  
エリアもブナの群生地

ようやく塔ノ岳について、目に飛び込んだのが  
工事現場に見られる移動式のトイレが設置され  
稼働していた





堂々と山頂の一等地に  
あるトイレに違和感あり  
満杯時にヘリで降ろすため  
網が掛けてある  
安全のためやむを得ないのか



あと2時間の  
辛抱  
バカ尾根を  
降りてゆく



これだけの距離を歩くと  
両足はパンパンとなっているが  
バス停に降りなきゃとの  
気持ちのみ、足元を慎重に見つめ  
惰性でバス停にたどりつく

予想に反しての雷雲のため  
大変な耐久登山となった